

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	障害児保育の充実						掲載ページ
							175
コスト	事業費	平成23年度執行額	平成24年度予算額	政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		180,598 千円	239,502 千円	施策名	障害のある子どもへの支援	担当課	保育課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	通常保育での受け入れに加え、延長保育、一時保育を含めて統合保育の可能な障害のある子どもの受け入れを行います。また障害のある子どもの福祉の向上と、保護者の就労を支援するため、関係機関の協力のもと、統合保育の可能な重度の障害のある子どもを直営保育所で受け入れます。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	統合保育の可能な障害児を通常保育だけでなく、延長保育、一時保育での受け入れを行います。また、統合保育の可能な重度の障害児を直営保育所で受け入れます。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】	
	通常保育における障害児の入所状況	157 施設 (100%)	158 施設	158 施設 100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	・通常保育で障害児の受け入れを全保育所で行います。 ・統合保育の可能な重度障害児の受け入れを直営保育所で行います。 (最終目標と最終年度) 全保育所(26年度)					
	特別保育事業における障害児の入所状況	(延長保育) 141 施設 (一時保育) 54	(延長保育) 143 施設 (一時保育) 58	(延長保育) 143 施設 (一時保育) 58 100.0 %	順調 やや遅れ 遅れ	順調
・保護者の仕事と子育ての両立支援を図るため、通常保育のみならず特別保育事業においても、全保育所で障害児の受け入れを行います。 (最終目標と最終年度) 全保育所(26年度)						

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。
		平成24年3月1日現在、104施設で336名の障害児を受け入れました。直営保育所では重度障害児10名を受け入れました。 障害の有無にかかわらず、一緒に保育し、ともに育ち生活する中で、相互の健全な育成を図ることができ、保育所での保育が可能な障害のある子どもを積極的に受け入れており、なおかつ就労を希望する保護者も増加すると思われるため、障害児保育のニーズは高まると予想されます。有効性は、高いと思われます。
		現在は障害児数に応じた職員配置を、常勤やパートで行っており効率性は高いと考えます。これ以上のコスト削減は困難と考えます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
本事業は、児童の福祉向上に資するところも大きく、保護者の就労支援、子育て支援を図る上で施策に対する有効性も高く、今後も児童の処遇改善や保育所の資質向上を図りながら着実に取り組むことが適当だと考えます。今後も継続して事業を実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	保育所・幼稚園等から小学校・特別支援学校への連絡体制・情報の共有機能の強化						掲載ページ		
							175		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		—	千円	—	千円	施策名	障害のある子どもへの支援	担当課	保育課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	保育所・幼稚園等と小学校・特別支援学校が、特別な支援が必要な児童についてのケース会議を持ち、就学に向けた入学児童の一人ひとりの引継ぎ資料等を作成するなど、入学時の連絡体制・情報共有機能を強化します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	就学に向けて児童一人ひとりの連絡体制・情報共有機能を強化します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	保育所児童保育要録の送付	157 (100%) 施設	158 施設	158 施設	100.0 %	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 大変順調	
	北九州市内の認可が保育所において共通で使用している様式の保育所児童保育要録を記入し、全保育所から就学先の小学校へ送付します。 (最終目標と最終年度)						
小学校・特別支援学校との連携体制の強化				順調	順調		
各学校における連絡会等の内容や開催時期等の差がありますが、全就学先で実施が可能となるように、教育委員会と連携していきます。 (最終目標と最終年度)				やや遅れ 遅れ			

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 北九州市内の全認可保育所からは、3月に保育所児童保育要録を送付し、小学校入学児童の一人ひとりについて、情報の共有を図りました。就学前教育において、入学の連絡体制、情報共有機能を強化するために、有効性は高いと考えています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 現行の組織体制の中で、それぞれの連携強化をもって対応しており、特段の予算はかけていないため、経済性・効率性は高いと考えます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
障害のある子どもを含めたすべての子どもの生活と発達を理解するうえで、個別の情報伝達は大変重要です。保育所児童要録の送付やさらに入学時の連絡体制・情報共有機能の強化は必要と考えています。今年度も全保育所から保育所児童保育要録を小学校に送付します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	一時保育事業						掲載ページ		
							176		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		49,646	千円	54,620	千円	施策名	障害のある子どもへの支援	担当課	保育課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	保護者のパート就労や冠婚葬祭、及び育児リフレッシュ等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育所において保育します。今後は、実施施設数を増やします。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	引き続き一時保育実施施設を増やし、子育て家庭等の支援を行います。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	一時保育事業を実施する保育所					活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	保育所の新設や改築に伴い一時保育室を設置するなどして一時保育事業実施保育所数の増を図ります。 （最終目標と最終年度）64所、平成26年度	54 所	58 所	59 所 101.7 %	大変順調		
	（最終目標と最終年度）				順調 やや遅れ 遅れ	順調	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成23年度は5所で新規開設を行い、全59施設において年間延べ25,525人でした。また、一時的な就労等多様化する就労形態への対応や、専業主婦等の育児リフレッシュへの対応等について高い効果があります。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	補助金は利用児童数に応じた額となっており、限られた補助の中で人員を配置し実施するなど、合理的に事業を行っています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
保護者の就労形態の多様化等に対応するため、「元気発進！子どもプラン」に基づき事業の拡充を行います。平成24年度は、新規5所で一時保育事業の実施を予定しています。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	障害児通園施設の機能強化						掲載ページ		
							176		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	保健福祉局
		2,769	千円	3,099	千円	施策名	障害のある子どもへの支援	担当課	障害福祉課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	障害児通園施設の専門的療育機能を強化するとともに、専門機関としての地域の保育所等への支援を強化します。また、保護者の就労支援やレスパイトについても配慮した対応について検討します。			活動実績 活動実績は下記のとおりです。
活動計画	保育所等へ巡回相談事業を開始します。				
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】
	保育所等への支援件数	未実施	-	134 件	大変順調
	専門的機能を活かした取り組みであり、地域の保育所等に対する支援の度合いをはかる目安になると考え、掲げました。 （最終目標と最終年度）				
障害児通園施設における日中一時支援事業（放課後対策）の延べ利用者数	125 人/月	-	100 人/月	順調 やや遅れ 遅れ	順調
利用者数の増加は、保護者の就労支援やレスパイトにつながると考え、掲げました。 （最終目標と最終年度）					

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	<p>【活動の状況】を踏まえた分析</p> <p>活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。</p> <p>「経済性」「効率性」の分析</p>	<p>知的障害児通園施設である「ひまわり学園」は、地域における障害児の療育施設であり、保育所等に通う児童の中にも、発達が気になる児童がいることから、保育所等への支援が必要と考えます。また、保護者に対する積極的な広報活動により日中一時支援事業（放課後対策）の利用者は、順調に推移しており、保護者の就労支援やレスパイトに対する有効性は高いです。</p> <p>「指定管理者制度」を導入しています。</p>

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
<p>「ひまわり学園」は、地域における障害児の療育施設であり、地域支援の取り組みは今後も必要と考えます。日中一時支援事業（放課後対策）は、保護者のレスパイトや就労支援の充実に必要な支援であり、今後も事業を継続します。平成23年度から到津、若松、引野の3つのひまわり学園において、保育所等の巡回相談事業等を実施しました。平成24年度も広報活動により日中一時支援事業（放課後対策）の周知を図り、利用者数の増加に努めます。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	障害児入所施設の機能強化						掲載ページ		
							176		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	保健福祉局
		35,173	千円	40,031	千円	施策名	障害のある子どもへの支援	担当課	障害福祉課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	障害児施設の専門的・技術的機能を活かし、地域の障害のある子どもへの相談支援機能強化を図ります。			活動実績 活動実績は下記のとおりです。	
活動計画	平成23年度から本事業委託を開始し、障害児入所施設において障害のある子どもへの相談支援を強化します。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】
	外来療育相談件数		未実施		821 件	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	在宅の障害児（者）及び家族等に対し、外来の方法により、各種の相談・指導を実施します。相談件数が障害者の利便向上の判断基準となることから、活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）					
						大変順調
					順調 やや遅れ 遅れ	
					順調	

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	23年度に事業を実施した結果、当初の予定を大幅に超える相談件数実績が報告され、本事業に対する潜在的なニーズが高かったことが伺えました。 当初予定件数：240件/年間 相談実績：821件/年間 当初の予定を大幅に超える相談件数実績が報告されており、本事業の実施は有効であったといえます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	相談には障害福祉に関して知識・経験を十分に有し、多種多様な相談に応じることのできる職員が行います。高度の相談支援を今後も実施するためには、現在の相談単価をこれ以上安くすることは相談内容の劣化を招き、適当ではありません。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
外来療育相談は非常にニーズが高いため今後も継続して行きます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	特別支援教育相談センターにおける相談事業						掲載ページ		
							176		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	教育委員会
		21,462	千円	30,399	千円	施策名	障害のある子どもへの支援	担当課	特別支援教育課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	特別な支援が必要な幼児児童生徒や、その保護者、学校等への専門的な支援を行い、全市的な相談支援体制の充実を目指します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	巡回相談に医療関係等の専門家の同行を工夫するなど、効果的な相談を行います。（市が直接実施）							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	教育相談人数（実数）		369 人	300 人	378 人	126.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	障害の理解や学校生活等での支援について保護者や教職員と相談ができるシステムの中で、課題が解決できるよう教育相談の充実を図ります。 （最終目標と最終年度）25年 300人							
	巡回相談のべ回数		270 回	300 回	392 回	130.7 %	順調 やや遅れ 遅れ	大変順調
学校等を訪問し、個別の教育支援計画の作成等について教職員に助言し、必要に応じて医療機関等の専門家チームと連携できるシステムの中で、巡回相談の充実を図ります。 （最終目標と最終年度）25年 300回								

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	就学相談のシステムを改善したことで増加した申込みへの対応がスムーズにできました。教育相談と巡回相談は、実施人数、実施学校数、実施時間数といずれも十分な成果があり、学校・園にとって手厚い支援となっています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	教育相談や巡回相談を申し込む保護者や学校は多く、相談件数が増加しているため、費用対効果は高いといえます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
相談員を公募し、相談員の待遇改善を行い教育相談の充実を図ります。巡回相談に医療機関等の専門家の同行を工夫する。また必要に応じて今年度配置した臨床心理士の資格を有する専門相談員を活用することで充実を図ります。